

## 令和4年度第1回 美祢市立地適正化計画策定協議会 要点議事録

日時：令和4年9月27日（火）13時30分～15時40分

場所：美祢市民会館2階大会議室

出席者：

【委員】国立大学法人山口大学大学院 創成科学研究科 教授：榊原 弘之  
国立大学法人山口大学大学院 創成科学研究科 准教授：牛島 朗  
一般社団法人美祢市医師会 会長：札幌 博義  
社会福祉法人美祢市社会福祉協議会 会長：山田 悦子  
美祢市教育委員会 教育長職務代理者：金子 明美  
一般社団法人山口県建築士会 小野田支部 理事：吉野 一  
美祢市商工会 理事：杉本 智  
吉則商店会 会長：原田 健一

【オブザーバー】国土交通省中国地方整備局 建政部都市・住宅整備課 課長補佐：谷本 尚久  
山口県土木建築部都市計画課 主幹（まちづくり推進班長）：福田 将之

【事務局】市建設農林部建設課まちづくり推進室

【建設技術研究所】佐藤、田中

### <配布資料>

- ・ 資料1 美祢市立地適正化計画策定協議会設置要綱
- ・ 資料2 委員等名簿
- ・ 資料3 令和4年度第1回立地適正化計画策定協議会

### <協議内容について>

発言者	発言概要
	1. 開会
	2. 市長あいさつ
	3. 本協議会設置の趣旨説明
	4. 委嘱状の交付
	5. 委員等の紹介
	6. 会長の選任
	事務局より榊原委員を推薦。
	7. 副会長の指名
	会長より牛島委員を指名。
	8. 議題 (1) 立地適正化計画の概要、(2) 検討スケジュール
会長	只今事務局より説明があった。ご意見ご質問等があれば発言をお願いします。

委員	意見なし
	<p>8. 議題</p> <p>(3) コンパクトなまちづくりの必要性・基本的な方針の検討</p>
<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>カバー率は徒歩圏で検討しているが、美祿市の現状を踏まえると、徒歩圏で考えるのは難しいのではないかと。公共交通も踏まえた連携を考えていく必要がある。</p> <p>分析のため、徒歩圏カバー率を用いた整理を行った。ご指摘の通り徒歩圏内に集めるのは難しいので、公共交通との連携も図りながら、自家用車等に過度に依存しないまちづくりを推進していきたい。また、区域設定の際には、徒歩圏 800m に固執しないで設定を行う。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>他自治体の事例などから、計画の最終版のようなものを示してほしい。今回の協議会は合併前の地域審議会とは異なるのか。</p> <p>最終的にはどのような計画をとりまとめるのかイメージしていただくため、他都市の事例を収集して分かりやすい計画を参考資料として提示する。</p> <p>合併後設置された地域審議会は現在廃止されているが、今回の協議会は地域審議会と類似した役割となるため、皆様から多様なご意見を賜りたい。</p> <p>(P7) のような区域を定めるのが本計画の大きな目的となる。「都市機能誘導区域」や「居住誘導区域」のなかで事業を実施する場合の根拠にもなる計画であり、そのあたりが議論のポイントとなる。また、他都市の事例の話があったが、都市の規模などによっても考え方が異なるので留意が必要である。</p>
委員 事務局	<p>立地適正化計画はどのくらいの将来を見据えて検討を行うのか。</p> <p>約 20 年後を見据えて検討を行う。</p>

<p>委員</p>	<p>計画を策定するのであれば、人が集まるような夢のあるまちづくり計画としてほしい。その場合、美祢駅がどのくらい機能するかが重要になってくる。秋芳と美祢の間に新しい拠点をつくって様々な機能を集約していくような思い切った対応なども考えられるのではないか。</p> <p>県内他市でも立地適正化計画を策定しているが市民への周知が十分でないように感じる。市民に周知し、理解してもらうことが重要であるため、例えば市議が各地域の住民に説明するようなことも必要ではないか。</p> <p>民間の施設について、例えば病院の場合、公共の病院は別だが、民間の病院については必要性（需要）があれば開設される。美祢市では必要性が低いいため、新規開設がないのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>美祢駅周辺は、駅だけでなく市役所なども立地しており、美祢市の中心であると考えている。夢のある計画としたいが、法に基づく計画であり、財政的な部分も含めた実現性も重要であるため、ご意見も参考にしながら現実性のある計画としていきたい。</p> <p>例えば、公共施設については、再編・統合を踏まえながら低未利用地への誘導を行うなど、実現性のある計画としていく。</p> <p>市民への周知については、届け出制度等との兼ね合いもあるので、パブリックコメントや様々な媒体を使って、十分な周知を図る。</p>
<p>会長</p>	<p>立地適正化計画には届け出制度があり、住民の利便性や利害にも関わるため、周知・情報発信が非常に重要になる。例えば、宇部市の場合は誘導区域内に限定した容積率の緩和や補助金制度などを整備されており、住民の利害に大きく関係する。</p> <p>美祢駅については、鉄道の運行本数は多くなく将来的な機能の議論も必要であるが、鉄道だけではなくコミュニティバスやジオタクが美祢駅に集まっていて交通の拠点となっている。今後の高齢者の免許返納などを踏まえると、交通結節点として美祢駅を位置づけることは重要である。現在のカバー率の算出方法は、商店や病院ありきの考え方になっている。将来もそれらの施設があるとは限らないので、考え方の一つとして見て欲しい。</p>

<p><b>委員</b></p> <p><b>事務局</b></p> <p><b>会長</b></p>	<p>誘導区域に集約することは分かるが、他の地域の方、特に高齢者への対応はどうなるのか。区域外には住めなくなるような印象を受けるが、福祉の観点からは住み慣れた地域で生涯を終えるといった考え方で取り組んでいる。</p> <p>今後、美祢市の人口は減少することが予想されており、まとまったエリアに人口を集め、都市機能を維持していくことが必要である。将来、住み替えを考える際に、選択肢の1つとして考えて貰えるようにしたい。</p> <p>中心部だけ整備して、農村部は何もしないということはない。農村部についても中心部と交通ネットワーク等で結ぶことで、区域外でも暮らし続けられるような環境を整えていく必要があると考えている。ただし、市として中心部を整備することも必要であると考えている。</p> <p>美祢市の場合は市域が広いため、区域外の地域とどのように連携を図っていくかは重要な課題である。</p>
<p><b>委員</b></p> <p><b>会長</b></p>	<p>現状と、20年・30年後の計画では乖離するところがあるので、将来の姿をしっかりと示す必要があると考える。</p> <p>美祢市では地域公共交通計画を策定中であるが、それらの計画も踏まえて検討を行って欲しい。また、将来の美祢市にどういった機能が必要かといった視点も必要である。例えば、若い方にとっての必要な施設（高校や医療施設など）を整理し、それらの施設を成り立たせるためには、どのようなまちづくりが必要かといった視点で検討してみてもどうか。</p>
<p><b>委員</b></p> <p><b>会長</b></p> <p><b>事務局</b></p>	<p>商工会の会員は商業関係者の集まりのため、計画の策定に伴い利害関係が生じる。今回の協議会の内容は商業者にとって重要な情報になるが、商工会の会員に情報提供することは問題ないか。</p> <p>この会議は傍聴可能か。傍聴可能であれば公開しても問題ないのではないか。設置要綱に公開に関する条項はないが、今回そういったご意見を賜ったので、皆さんに異論がなければ議事録等を公開する方向で進める。</p>
<p><b>委員</b></p> <p><b>事務局</b></p>	<p>各委員会の連携はどのようになっているのか。</p> <p>(P39) 人口減少は子供の教育に関することであり、地域活性化にも関わる課題である。教育とまちづくりの関係はどのように考えているのか。</p> <p>まちづくり検討委員会は、庁内の部長クラスで構成されており、事務局案について検討する。策定協議会は、多様な方々の意見が必要であることから、協議会を構成している。最終的には、都市計画審議会の意見や、住民の意見を踏まえて計画を決定する。</p> <p>教育とまちづくりの関係については、今すぐに回答することは難しいが、密接に連携しながら議論を進めていきたい。</p>

委員	計画の方向性としては、人口減少、財政減少が前提で、その中でなんとかや っていかうという計画なのか。
会長	基本的な方向性はそのとおりである。ただし、減少する中でも減少率を抑え るなどの施策を行っていく。
事務局	以前は、本市の計画でも人口増加に向けた計画づくりを行ってきたが、国の 推計でも人口減少が示されており、現在は本市の最上位計画である美祢市総合 計画においても人口減少を前提に計画策定を行っている。よって本計画では人 口減少の中でも、人口減少を抑える施策はとりつつ、市が持続できるような計 画を策定していきたい。
委員	個人的な考えだが、地域も維持していくならインフラ費用が必要になる。多 極型といった話があったが、逆に思い切って中心部に一極集中を進めていくこ とも考えられるのではないかな。
副会長	美祢市の都市構造（秋吉台があつてその周りに集落があるなど）があるので、 市特有の現状を踏まえながら議論を進めていく必要があるのではないかな。
会長	立地適正化計画は基本的に誘導区域内の話が中心になるが、美祢市の場合は、 誘導区域外の話も重要になる。また、立地適正化計画は20年の長期スパンの計 画であるため、直ちに答えが必要なことと、十分な検討が必要なことに分けて 考えていく必要がある。
	9. その他
事務局	次回の協議会は来年1月下旬から2月にかけて予定している。資料は事前に 配布予定である。 今回意見のあつた他都市の事例については、収集後送付予定とする。
	10. 閉会

以上